

第 28 期登山学校【山のリスク】 レポート

1、(机上講座)

山でのリスクは多いと感じたが、準備でそのほとんどが防げるということが印象に残った。

急な天候の変化に対しても雲の変化や気象図を見て取れることで対策は可能であり、楽しんで山に登るためにもしっかりと自分の知識としたい。

(実技講座)

リスク管理について意識して登ると至る所にリスクが潜んでいることにハッとする。

現場で備えるリスクも数多く、咄嗟の判断は経験値が必要とも感じた。

机上での知識の習得と現場での経験とを積み重ねていきたいと思う。T. S 記

2、山のリスク 座学の感想は、様々なリスクがあり、これは仕方ないなと思っていたものでも、入念な下調べや準備によりほとんどのものが対処できると気づかされました。

気象の講義では、天気予報は普段から馴染みのあるにも関わらず知らないことだらけで、今回の講義をきっかけに興味がわいてきました。今後は関心を持って予報を見て、現場で答え合わせをしていきたいと思いました。

以上です。本日もよろしくお願いいいたします。

実技講座 予想以上の渋滞で集合時間に遅れてしまいましたが、行程にゆとりがあったため帰りのバスには余裕を持って乗ることができました。

今回は、腰痛対策やたまに起こる膝痛対策にストックを使いました。特に何の問題もなく歩けたので体への負荷が軽減されているのかなと思いました。

金時山は初めてで、富士山も見ることができたのでよかったです。ありがとうございました。S. A 記

3、天気の話はとても勉強になりました。難しく途中、分からないこともありましたが、後日、復習したいと思います。山のリスクは時々、動画などもみっていますが、遭難や怪我をしないように今後もよく調べたり、学び続けなければと思います。貴重な講座をありがとうございました。難しいことを面白く解説して頂き、本当に有意義で楽しかったです。K. N 記

4、山のリスク机上講座

何よりも無理のない計画を立てることが、リスク回避・軽減に一番重要なのだと、改めて思いました。

ほとんどが「今回初めて登る山」の私にとっては、調べたつもりでも、実際行ってみるとキツく感じたり、楽に感じたりと、予想と違うことが多々あるので、とにかく事前の下調べを念入りに行い、時間に余裕をもち、装備をしっかりと用意した上で実行し、直前でも途中でも止める決断力をもって、楽しみたいと思います。気象予報士の村口氏の講義はクイズあり、ユーモアあり、ちょっと難しい話あり、興味深い内容ばかりでした。奥深く、半日だけでは足りなかったので、少し自分なりに調べてみようと思いました。T. H記

5、【山のリスク講座（2024.11.02-03）】所感

■机上講座

- 登山におけるリスクについて、班内で話し合った。まとめの講義では、知識や事前の備え（計画、準備、装備）でリスク対策をしておくことが重要だと学んだ。

- 備えの装備としてファーストエイドなどの実物を見せていただく。装備の容量・重さとのトレードオフもあると感じたが、行く先に合わせて検討するようにしたい。

- 山のリスク（天候、低体温症など）が人命に関わる事故につながった事例として、2023年10月の朝日岳の遭難事故について学んだ。当事者の心理や行動には理解できる点もあり、事故になったために後から問題とされた部分もあると感じた。事故の当事者にならないよう心掛けたい。

- 講座の後半は、日進山岳会の村口氏による、気象に関する講義があった。聞きやすい語りだったが、情報密度が非常に高く、理解は全く追いつかなかった。メモしたキーワードを参照しつつ、改めて学習が必要と感じる。

■実技講座

- 天候・気候にも恵まれ、金時山の山行は楽しめた。登山口へのアクセス（今回は遅延したが）もよく、次回以降に別のルートにも行ってみたいと思う。

- 交通渋滞により、現地へのバス到着が1時間ほど遅れるが、下山時刻はほぼ予定通りとなった。計画にゆとりがあったか、見直しが入ったかだと思うが、外的要因に対処できることは重要だと感じた。

- ガスバーナーとコッヘルを借り、山頂での食事作りを行った。事前に調理・調味をした状態で持ち込む工夫や、工程を最小限にするなど、他の方の手法が参考になった。以上 M. N記

6、机上講座：グループで山のリスクを出し合った際、出てきたよりもたくさん
のリスクがあったことを、改めて感じました。言語化できなかったということは、
リスク意識不足と言え、一つ一つ意識することで、計画や準備から変えていこう
と思いました。

那須岳の事故では、事故に遭った方の「せっかくここまで来たから」という気持
ちに、自分も心当たりがあり、事故は他人事ではないと思いました。進むか撤退
するかの岐路では「山はなくなる」「生きていればまた来られる」と自分にも
一緒に登る人にも言う心の準備もしたいです。

また地元の方や先輩の助言に、耳を傾けることも大事にしていきたいと思いま
す。天気図の読み方や天気や雲の読み方は、まだまだ難しかったので、見る習慣
をつけていきたいと思います。

実技講座：金時山では天候に恵まれ、気持ちのよい山行でした。

事前に地図を読み、天気を確認し、交通渋滞にもかかわらず予定通りに下山でき
る時間の余裕を持って動くなど、準備や想定していたことが、一つずつリスクの
軽減につながり、気持ちのよい山行に繋がったと思います。

準備で荷物が増えすぎることも体力の消耗に繋がりそうで、日頃からの体力づ
くりも安全登山のために心がけたいと思います。A. N記

講座で道迷いをしている身なので、本日は心して受講しました。

今後も学んだことを意識して、リスクが起こらないように登山に望みたいと思
います。午後の気象についても、難しいながらも村口さんのお陰で、楽しみなが
ら学べました。ありがとうございました。また明日もよろしく願いいたします。

H. T記

山のリスク講座 記録報告

2班報告 T・S記

○行程

出発 乙女峠バス停 10:22—乙女峠 11:02—長尾山 11:28—金時山 12:17
～昼食～金時山 13:10—金時神社入口 14:20 下山

○所見

集合の遅れにより出発時間が少し押したものの概ね予定通りの行程となった。

天候に恵まれ少し汗ばむくらいの気候でたまに吹く風が心地よかった。

人気の山で紅葉シーズンということもあってか登山客が多く、山頂では家族連れなど多くの人で賑わい、登り下りともに時々待ち列が発生していた。

1班報告 K・M記

○乙女峠までのアプローチを、ご報告いたします。

発着時間：05:28 発 → 09:00 着 所要時間：3時間32分

乗車時間：2時間54分 乗換回数：5回 総額：2,835円（IC利用）

■鶴瀬 2番線発

| 東武東上線(池袋行) 22.0km 05:28-05:45 [17分] 377円

◇成増 3・4番線着・3・4番線発 [乗換1分+待ち2分]

| 東武東上線急行(池袋行) ↓ 前・中～後

| 05:48-05:58 [10分]

| ↓

◇池袋 6番線発 [乗換4分+待ち6分]

| 山手線新宿方面行 4.8km 7・10号車 06:08-06:16 [8分] 167円

◇新宿 14番線着・4・5番線発 [乗換4分+待ち1分]

| 小田急線急行(小田原行) 82.5km 前 06:21-07:51 [90分] 901円

◇小田原 [乗換1分+待ち7分] 箱根登山線(箱根湯本行) 6.1km

| 07:59-08:13 [14分] 360円

◇箱根湯本/箱根湯本駅 3番のりば発 [乗換4分+待ち8分]

| [箱根登山バス] L乙女峠線(宮城野経由) 箱根湯本駅～乙女峠(乙女峠行)

| 08:25-09:00 [35分] 1,030円

■乙女峠